

ねんぶ 松平定信公の年譜

年代	松平定信	その他のこと
1758年	・生まれる	
1774年	・松平定邦の養子となる	
1776年	・初めて白河へ	
1783年	・家督をつぐ	・浅間山大ふん火
1784年	・藩主として白河へ ・白河で蔵米を放出	・きょう作、ききん ・ききんのため、農村あれる
1785年		・奥羽ききん
1786年		・関東、陸奥大洪水
1787年	・老中となる	・諸国、大ききん
1793年	・老中を免ぜられる	
1801年	・南湖公園できる	※1822年松平家は、桑名へ移る
1828年	・死す	



(福島県立図書館蔵)

養子…他人の子どもをもらって自分の子どもにすること。

家督…一家の長。

老中…江戸幕府の役の名まえ。

「……この辺は、昔、雨がふると西部を流れる谷津田川がはらんし流れ出して沼をつくり、いつまでも水がひけないしっ地であった。」

